

新都市社会技術融合創造研究会 平成19年度 事業報告

1. 設立目的

社会資本の整備、維持・管理に関わる産・学・官の連携・協力による新しい技術の研究・普及等に関する事業を行い、もって都市再生と地域連携による経済活力の回復に貢献し、国民生活の質の向上、安全で安心できる暮らしの確保、環境の保全・創造に寄与することを目的として、新都市社会技術融合創造研究会（以下「研究会」という）を設立した。

2. 平成19年度活動概要

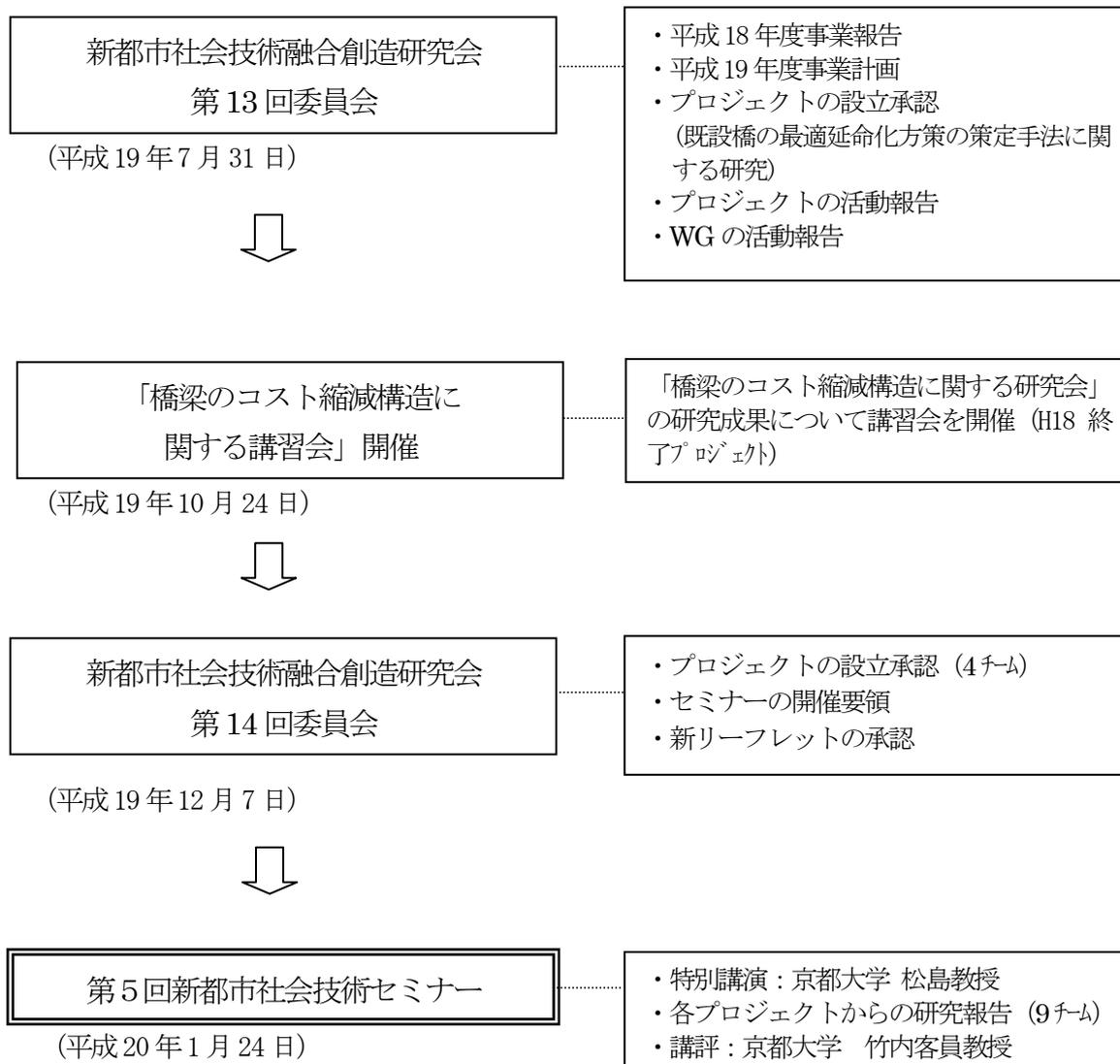
- ・H19年度は、委員会2回、講習会1回の開催に加え、当研究会主催において、「第5回新都市社会技術セミナー」を開催した。
- ・セミナーにおいては、京都大学松島教授による『特別講演』の他、各プロジェクトチームでの研究成果が発表された。また、京都大学竹内客員教授より、当研究会の取組み等に対して講評を頂いた。産学官の各方面から計302名の参加があり、参加者からアンケートを実施した（別紙参照）。

3. プロジェクトチーム設立状況（H19年度）

プロジェクトチーム	プロジェクトリーダー	研究期間
「排水性舗装混合物のリサイクル技術研究」	山田 優	H16～H19
「道路トンネルの健全性評価に関する研究」	大西有三	H16～H20
「ITSを活用した道路交通ネットワークの調査・評価手法に関する研究」	谷口栄一	H18～H20
「ITSを活用したまちづくりのための交通マネジメントに関する研究」	谷口栄一	H16～H21
「積雪寒冷地における舗装耐久性向上及び補修に関する研究」	小林潔司	H19～H21
「鋼橋の疲労亀裂進展シミュレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究」	坂野昌弘	H18～H20
「道路防災モニタリングネットワークシステムの構築に関する研究」	西山 哲	H18～H20
「景観性に優れたアーチカルバートを用いた盛土構造に関する研究」	岸田 潔	H18～H21
「既設橋の最適延命化方策の評価・策定に関する研究」	宮川豊章	H19～H21
「アンカー工設置のり面の健全性評価に関する研究」	沖村 孝	H20～H22
「舗装用骨材資源の有効利用に関する研究」	山田 優	H20～H22
「物理探査の連続計測による斜面地盤の工学的評価手法に関する研究」	楠見晴重	H19～H22
「トンネル坑口部付近における騒音予測に関する研究」	松井利仁	H19

4. 研究会活動

平成19年度は2回の委員会（第13回、第14回）、と講習会、セミナー（第5回）を実施した。



5. 広報活動

(1) 記者発表及び新聞掲載

第13回、第14回委員会終了後、セミナー開催に当たって記者発表を行い、後日の新聞に記事が掲載される。(次頁以降掲載)

(2) リーフレット、ホームページ作成

研究会の活動目的、状況、各プロジェクトチームの紹介などを広報するための、リーフレットの作成を行った。併せて、近畿地方整備局内の当研究会HPについてもリニューアルを行った。